令和６年度 第２回瀬戸市ＩＣＴ活用・ＤＸ推進協議会
委員からのご質問・ご意見

開催日時	令和６年１０月２９日（火）　※報告書送付日
開催場所	書面開催
報告内容	資料「瀬戸市 DX 重点取組み事項の令和６年度中間進捗状況」
委員の意見・質問	【安田委員からのご意見】 「４ 情報発信アプリの利用促進」について 生成 AI による対話形式で、ゴミの分別情報や集配日などの問い合わせに応えられるようになるとよいです。 「５ 行政サービスのキャッシュレス決済拡大」について 「どの種目まで対応するのか」ではなく、全てを対応させることを目標にすべきで、できない場合はあくまでも例外にすべきです。 「６ マイナンバーカード普及促進・利活用」について 利用者の好事例を市民に共有できる仕組みを作るとよいです。 「７ 各種証明書のコンビニエンスストア交付拡充」について 普及が進んでいることは市民サービス向上につながり、引き続きサービスの拡大を期待します。一方、利用者からの改善点などのフィードバックをもらえる機会を作ってはどうでしょうか。 「８ メタバース「バーチャル瀬戸」を活用した地域振興」について せっかく瀬戸市のオリジナリティのコンテンツとなっているので、定期的にメタバース内でイベントを企画実施するとよいです。広く企画を募集するのも一案です。 「９ デジタルデバイド対策」について 支援員の拡充と、定期的なサポート会の開催、そして、これらの活動の「見える化」により、市民への周知の徹底をするとよいです 「10 ICT 支援施設（DRPC）利用促進」について Seto CG Kids Program は 10 年以上が経過し、瀬戸市のデジタルコンテンツ教育として定着し、これをさらに継続していき、ここで育った子供たちが活躍する機会がさらに増加することを期待します。 さらにここでのオリジナリティあるデジタル教育として「株式会社スクーミー」との連携があります。 https://schoomy.com/ スクーミーは、IoT に関する子供向け教育サービスを全国的に提供しており、私たちの研究室でも高山市の高校生への新たなプログラミング教育としてご一緒しています。この取組は DX 顧問をしている安城市でも高校生向けに開始しています。 「15 テレワーク環境整備」「16 Wi-Fi 環境整備」「17 Web 会議環境整備」について

情報政策課から	これらについては、現状の利用状況についてリアルタイムで可視化し、職員の皆さんがいつでも確認できるようにされるとよいです 安田委員のご意見を参考に、下半期のＤＸ推進に取組んでいきます。